

保育おおさか

平成16年5月1日 第345号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

育児相談員

フォローアップ研修

育児相談員「認定証」取得者のためのフォローアップ研修が、3月29日、ホテルアウイーナ大阪で行われた。育児相談員として何が必要とされているのか、改めて学ぶ研修となった。

共感と信頼築こう

子どもの発達しつかり理解

講演

子育て支援に求められるもの

講師 大阪人間科学大学

服部祥子 教授



まず初めに、乳幼児期の子どもの発達を三段階に区分し、それぞれの特性を理解することが大切である。

0～1歳の一年間の乳児期には、関わる全ての人が母親的存在であり、その母となる者との出会いがその後の人生に大きな影響を与え、基本的信頼感（やすらぎ）を経験することは必須であるということ保育士は、知っていてほしい。

しかし、子どもの発達には個人差があるので、焦らず、ゆっくりゆるみなくすることが大切である。

3～6歳の幼児後期は、言葉の発達や知的発達が著しい時期なので、知的好奇心に応えることが必要であると同時に、黄金の時間といわれるほど自発心が育つ頃なので、ルールをしっかりと教えることが大切であるが、そのために人格を傷つ

ける必要は、ありません。

この六年間の育ちが、人生の礎となるので保育士は、聡明で物事の本質を知ることがあってほしい。

次に、現代の子育て環境を理解することが大切である。大阪・兵庫レポートという資料により、20年前も現在も、赤ちゃんが可愛い、一緒にいると楽しいという気持ちには変わらないが、出産前に子どもと接する機会が減っていたり、育児に対するストレスが増えているなど、育児に関する相談者がいないなど、子育てで不安や孤立した母親が増えていて、子どもが楽しむことができない一時保育や親同士の交流、情報交換の場が求められていることを理解してほしい。

最後に、育児相談員のためとするものとして、まず保育士としての実践を確かなものにするために、子どもた

ちの健やかな発達を深い良識のもとに理解をして育児相談に当たること。次に親育ちの支援として、昨日まで思春期の子どもだった人が親となるということは、生物学的には親になれるが人間的に親になるためには、親であるという道を歩んでいくことをサポートすることが必要である。

子育て支援の挑戦と限界として、基本的に、カウンセラーでもない保育士が答えをあげることは、育児相談の限界を越えている。一緒に考えてあげるといふ信頼関係を築き、相談者の話を共感理解しながら聴くということが大切である。保育士という専門職でありながら、育児相談という仕事を担うことは大変であるが、これから頑張っていたきたい。



先日、1960年代の幼児の絵について書かれた本を手にした。親は子育ての中で、子どもの発達という現実に向

き、たえず彼らの挑戦に对应し暮らしている。すなわち、この小さな存在は物理的環境を支配する何も持っていないが、そのもろさ、その弱さ自体が持つ力によって大人の注意を引き、その家族を支配し動かしている。つまり自分自身の環境を創り出す力を備えている。

子どもは発達段階に応じ、自分の要求に従って反応し母親の援助を求める。これに対し母親は出産前に得た知識、イメージと出産後の現実のずれを調整しながら子どもの世話をするということである。

大人であろうと子どもであろうと互いに自分の発達課題に取り組むという意味で両者は対等である。したがって親は、子どものためだけの問題ではなく大人も自分の発達の課題として受け止めるべきである。

親の問題で方向を見失っている今の社会にあって社会と人間の本性とのかかわりについて、今一度認識し直す必要があるのでは？

(K・K)

(この花保育園 N・H)

重責にさらなる決意

新任職員研修をうけて

新任職員研修会が、3月30・31日、大阪府社会福祉指導センターで行われた。社会人としてのマナーを含め、保育士としてどうあるべきかを学ぶ研修会となった。以下は参加者の感想と決意。

「保育士に求められるマナーの実践」

増田 知乃氏
(人材育成コンサルタント)



言葉遣い大切に

私は、増田先生のお話で、あたり前のことをあたり前にすることが社会人としての常識であることを学びました。

中でも、言葉遣い、人々が付き合う上でのマナーについてが印象的でした。

とくに印象的だったのは、保育士という仕事は保護者

相手の心情配慮

保護者の方や職場の上司、先輩との人間関係について深く考えさせられました。

「価値観」というものは人によって育ってきた環境などで大きく変わってきます。自分にとっての普通が必ずしも相手にとっても普通とは限りません。ですから、自分の基準だけで物事

を考えると、相手が不快な思いをしたり誤解を招いたりします。

今回教わった保育士としてのマナーを忘れることなく相手が気持ちよく過ごすためにどんな配慮が必要なのかということに常に考えられるよう心掛けていきたいものです。

(若江保育園 T・M)

「保育サービス地域子育て支援サービスを考える」

川原 佐公氏
(桜花学園大学大学院教授)



まず地域を知る

保育士は子どもを取り巻く社会や地域の環境を把握し、保護者への指導も行い、支援していかなければならないので、責任感を持って仕事に取り組んでいくということを改めて実感しました。

現在、子どもが体を使う遊びが減少しているために

感性みがき信頼関係を

最初に駄洒落の絵本を紹介していただいたときは、少し驚きました。もっと堅苦しい研修かと思っていたので、少し肩の力が抜けました。保育サービスとは、子どもの育ちや親の生き方を支援することを通じて、子どもも親もともに健やかに生活できる環境を確保す

る目的があるといわれたことが大変印象的でした。また、現場のエピソードを例にあげ、保育士としての感性がいかに大切か、そして子どものサインに気づき、一緒に体験していくことを通して、子どもとも保護者とも信頼関係が築けるということが大切であり、とても難しいことを実感しました。

(ゆめの子保育園 M・H)

「専門職としての保育士にむけて」

武内 茂子氏
(全国保育士会会長)



日々の糧を得た

今回の新任職員研修会では、敬語や社会人としての常識など、保育士に求められるビジネスマナーの基本、保護者に保育を理解して頂くための働きかけ、上司や先輩との連携について、次に保育・地域子育て支援サービズ、実践の中で保育者に求められるもの、保育士の

存在意義やすべきことなど、多くのことを学びました。

これから、この講義で学んだことを日々の糧にし、社会人としての自覚を持って恥ずかしいことのない保育士になれるよう、日々努力していきたいと、強く思っています。

(ワンワン保育園 S・S)

自覚をしつかり

私達は子ども達から「先生」と呼ばれる、そう呼ばれることにしつかり自覚を持ちたい、ただ甘えられるだけの存在ではなく、保育士自身が日々考え、学び努力する姿を見せることが大切であると思った。

また、家庭に代わる場として保護者が安心できる保

育園であることが大事であると思った。

(ギンガ保育園 R・K)



老朽改築を終えて

舞台を
びいたくに

双葉児童園

私は今、多くの方々の大変なご支援のおかげで出来上がったピカピカの新園舎に戸惑いながらも、喜び一杯の進級児と泣き叫ぶ新入園児の声が入り交じる年度初めの風景の中に身を置いています。建設に当たって他園の先生方から、いろんな

アドバイスをいただき立派に建ち上がった鉄骨三階建の園舎を前にして、老朽改築の申請当時から出来事が思い出され胸に迫るものがあります。同じ土地での改築ですから仮設園舎を建てる用地探しから始めなければなりませんでした。地主さんにお願したところお孫さんが当園に通っていたこともあって快諾をいただ



きました。借地人さんからクレームが入り交渉は難行しました。理事さんをはじめ地域のみなさんの助けをいただいて、何とか乗り切ることができましたが、借地人さんのある土地をお借りすることの難しさを痛感しました。

幸運にもこんな素晴らしい新園舎で私たちは、創立五十周年を迎えることができれば、子どもはどんなに喜ぶことでしょう。

また、お母さんにしても、

これは、今までわが子を

それと同時に、保育に携

わたりながら自らも夢を追

と、心なしかお母さんたちの顔にホッとした表情が浮かび、隣の人とコソコソと話し始め、なにかしら安心したような表情になり、時には自慢げに「10では足りないよ」とつぶやくお母さんまで出てくる始末です。これが、このコラムで何

マイナスから見ること慣れてお母さんたちに、見方の転換を迫り、「結構チャンと育っている」「そう言えば、去年に比べればグッとシッカリしてきた」「かわいいエクボは、わたしに似たのかな」などのう

れば、子どもはどんなに喜ぶことでしょう。

求めて半世紀。私たちはこの五十年分の夢の蓄積、そして幼児教育にかける熱い心をエネルギーにこれから新しい世紀においても、保護者の方々と共に子どもたちの夢を膨らませていきたいと思っています。

落語医者 保育うだうだ話

子どもの長所を10見つけよう

回も話題にしている「バツドマーク子育て」そのもので、どうしても子どもの短所に注目して、長所をなおざりにしてしまうお母さんが多いのです。

に書いてきてください」という宿題を出すことをお勧めします。

めし、その発見により、

小さい子にはすぐ親切で優しいですよ。今日も0歳のBちゃんを助けて」とか「Cちゃんは、すぐく動物に興味があるんですよ。お散歩のときチョウチョを見て」となどの会話をしてみたいのです。

どんな小さな、とるに足らないようなことでもいいのです。たとえば寝顔がかわいいか、お風呂に機嫌よく入るとか、なんでもい

今までより、わが子がいとおしく、かわいく感じられるようになり、子育てにも心の余裕と自信が生まれるものです。

また、そのことを、われわれが子どもに伝えてあげ

きます。建物は立派になったが幼児教育にかける夢や情熱はどうなのか、中身はどうなのか創立の精神に立ち返って見直してみる良い機会だと考えております。

これでは「発展途上人」である子どもの立つ瀬がありませんし、子どもの自信も意欲も育ちません。

また、そのことを、われわれが子どもに伝えてあげ

きます。建物は立派になったが幼児教育にかける夢や情熱はどうなのか、中身はどうなのか創立の精神に立ち返って見直してみる良い機会だと考えております。

きます。建物は立派になったが幼児教育にかける夢や情熱はどうなのか、中身はどうなのか創立の精神に立ち返って見直してみる良い機会だと考えております。

きます。建物は立派になったが幼児教育にかける夢や情熱はどうなのか、中身はどうなのか創立の精神に立ち返って見直してみる良い機会だと考えております。

平成16年度 保育部 会総会
日時：5月20日(木) 午後1時30分～4時
会場：指導センター 5階ホール
内容：総会議事 五年勤続感謝状贈呈
育児相談「認定証」授与
記念講演「保育所の現状とこれからの未来について」
講師：厚生労働省 保育課
保育指導専門官 角田雄三氏

